

掛け声で地域の別れ方の傾向を見ることができるのか

社会班：神谷風奈

1. はじめに

グーとパーを用いたグループ分けをするじゃんけん(以下じゃんけん)の掛け声が、大阪府内だけでもたくさんあるのを知り、これだけあるのならば、地域ごとに異なる掛け声が存在し、調査することでその傾向が表れるのではないかと考えた。

2. 実験方法

(1) アンケート結果をそのまま白地図に反映させる方法

- ① 高津生 240 名に掛け声と、掛け声を覚え、使う時期であろう小学校・中学校について通っていた学校名をアンケートで答えてもらった。
- ② 使っている人が一人、学校名を書いてないものなどを取り除いた後、掛け声ごとに学校で分けた。同じ掛け声かつ同じ学校のものが複数あったときは、まとめて1としてカウントした。
- ③ 学校のある市(大阪市と堺市は区)を調べ、それを元に白地図に掛け声ごとに色分けした点で表した。
- ④ 地図より傾向を見出す。

(2) アンケート結果をある基準でパターン分けし、白地図に反映させる方法

- ① アンケートにより集まった掛け声を、特徴ごとに6つのパターンに分けた。
- ② その6つのパターンを色分けし、白地図に表した。
- ③ 地図より傾向を見出す。また、(1)との傾向の違いを比較した。

3. 結果

(1) 主に次のような結果が見られた。(地図は2ページ参照)

- ① 隣り合っている市でのみ同じ掛け声がある
[例：ぐっばーでわかれましょなんで…泉大津市、高石市、堺市西区]
- ② ある市でのみ使われている掛け声がある。
[例：ぐっばーぐーでほーい：柏原市]
- ③ ほとんどの市で見られた掛け声がある。
[例：ぐーとっぱっ：90校の学校で使用されている]

(2) 主に次のような結果が見られた。(地図は3ページ参照)

- ④ 黄、緑、青は数が少なく、数個の市(区)にまとまって存在している。
- ⑤ 赤、紫、灰は数が多く、分散して存在している

4. 考察・結論

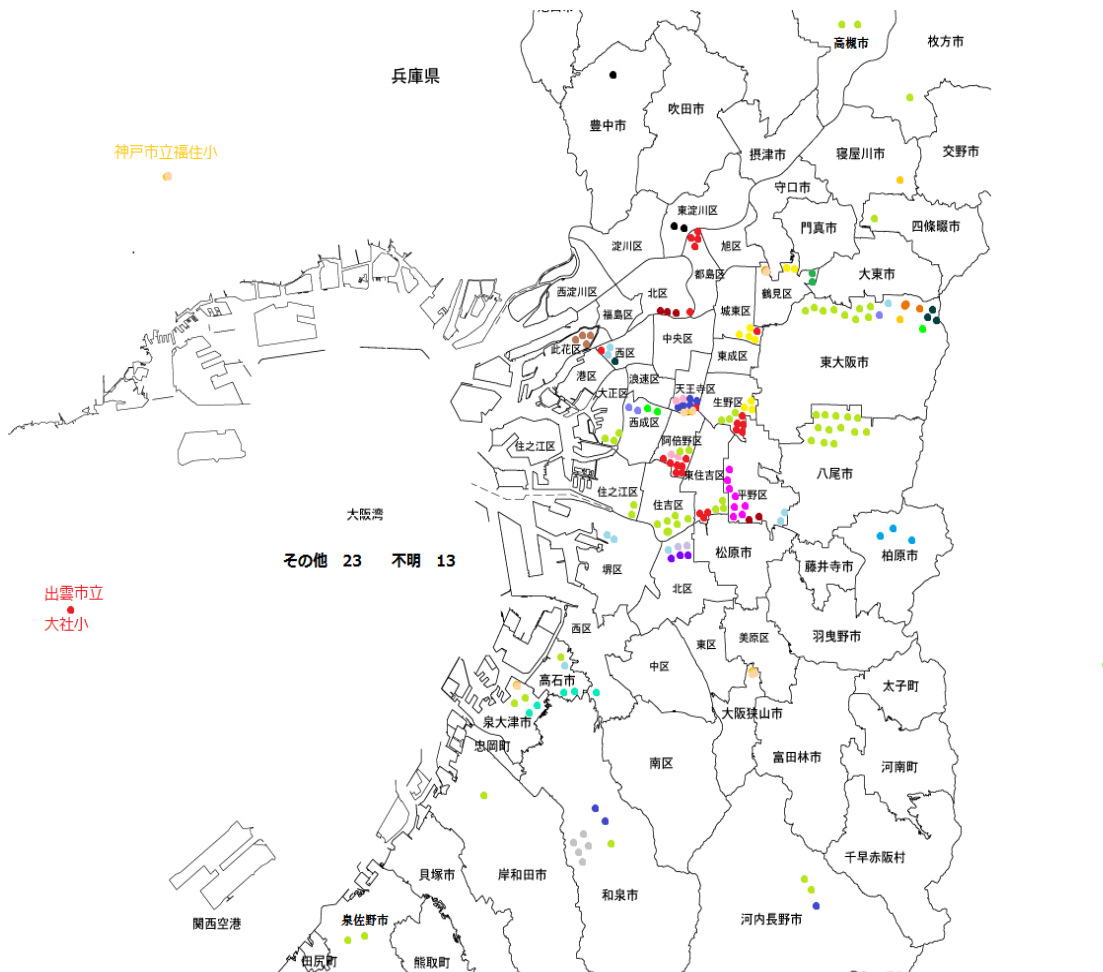
(1) 実験(1)(2)について

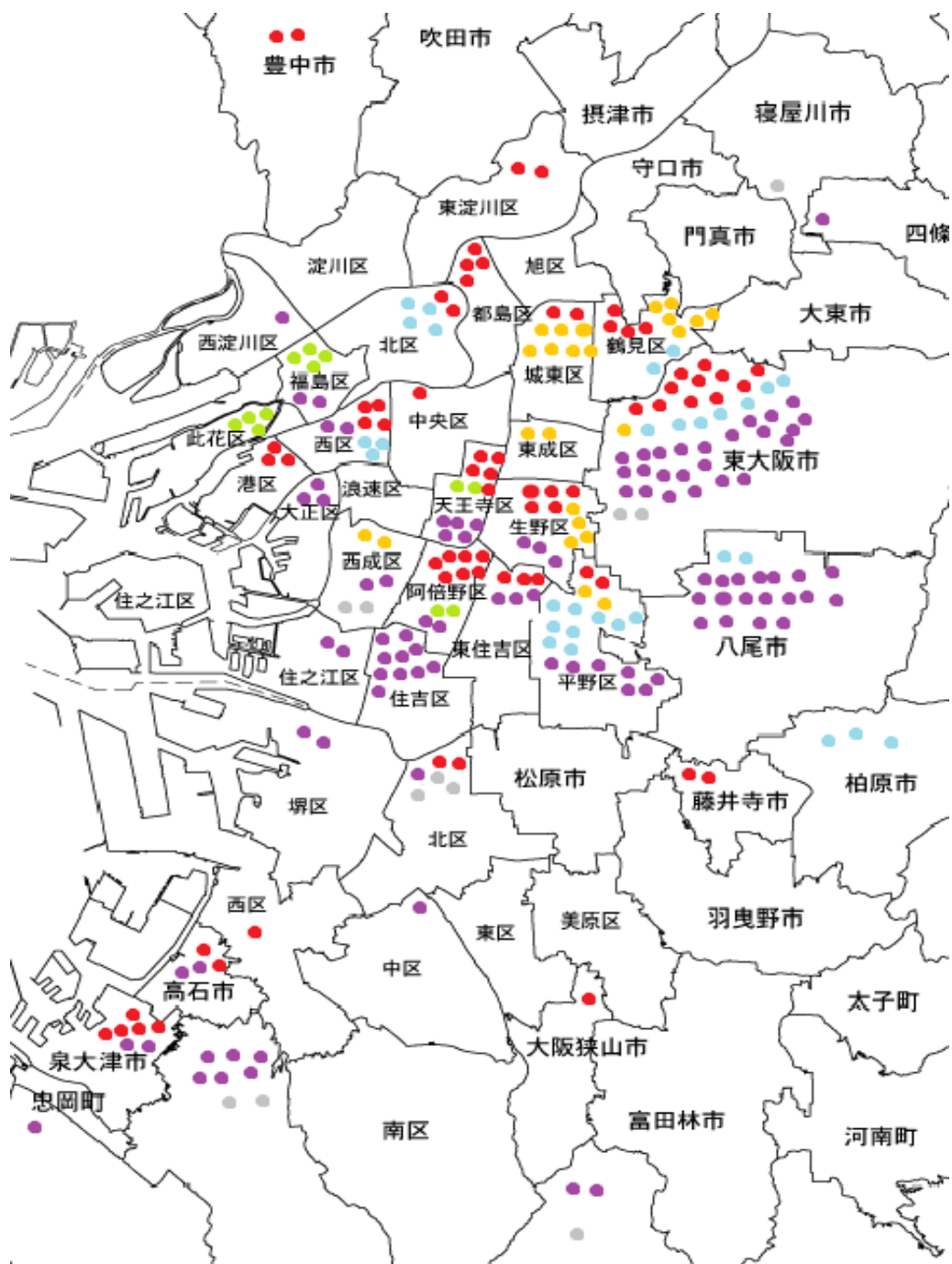
掛声で傾向はある程度見られたが、市・区ごとには分かれておらず、隣り合っている市・区と離れた市・区が同じであったり、たくさんの市・区で使われているなど様々であった。じゃんけんの掛け声という比較的現代のものでも、今の市・区で単純に分かれないことが分かった。

(2) 反省点

高津高校のみでアンケートをとったために、全ての地域から来ていないので掛け声を分ける地域、そして年齢によっても掛け声が異なることがあるので、年齢的にも結果が偏ってしまった。また、地図の色の違いが一部分かりにくくなってしまった。

↓アンケート結果をそのまま白地図に反映させたもの





↑アンケート結果を6パターンに白地図を表したもの

- 赤…「ぐっば、わかれましょ」が使われている掛け声
- 黄…「ぐっば、誰と、文句なし」が使われている掛け声
- 緑…「ぐっば、合わせ」が使われている掛け声
- 青…「ぐっば、ほい」が使われている掛け声
- 紫…「ぐっば」のみ使われている掛け声
- 灰…上記以外のもの